

## 第6回 共生社会被災者支援の会 議事録

日 時 2011年5月11日(水) 午後6時30分から

場 所 梅田サテライト108号教室(北新地駅真上、大阪駅前第二ビル6階)

参加者 柏木宏(以上、教員)、阪野修、坂口一美、尾崎力、藤井伸二、石井信夫、半田壱、  
岳麗、中野冬美、大賀善子、菅原智恵美、後藤陽子、新家潤子、前川武志、吉野  
俊明、寺尾亨、岡田高明、岩山春夫、三村、高坂(大阪府大)

### 1) 気仙沼での高校生ボランティア報告(藤井・阪野・坂口)

テレビ大阪が制作、放映した番組を上映、連休中の気仙沼に(以下、気仙沼活動)おける活動に関する感想や意見を述べ合った。

#### ◆ 感想

今回、無事故で活動を実施できたのは現地の方々のサポートが大きかった。

この高校生達は親との確執のなかで参加したくても参加できない生徒も入る中での参加であったためか行動に協調性があり、高校生自身にとってもよい経験になったと思う。

高校生を引率した藤井氏、現地の方々とのコーディネートした坂口氏や阪野氏、食事の準備を担当した前川氏をはじめ現地で活動にあたった方々の尽力に敬意を表したい。

#### ◆ 反省点

食事や宿泊の件に関しては話が急変することがあり調整に苦慮した。

今回のボランティアは公園の泥かきまでということで実施したが、住民から集めた泥の処理まで頼まれ困惑した。

ボランティアに行ったが逆に現地の方々にボランティアしてもらった印象も受ける。ボランティアセンターや社会福祉協議会との連携がうまくいかず調整が難しかった。

### 2) 会計報告

阪野氏、前川氏、藤井氏により、気仙沼活動に関する概算での報告が行われた。

### 3) 今後の活動計画

#### A) 気仙沼からの招待

#### ◆ 共生社会分野・共生社会創造領域の研究活動とリンクによるゲスト招待、研究会、シンポの開催

分野の共同研究(学生責任者:藤井)により気仙沼復興協会の守屋本部長を招待、領域の博士課程ゲスト招請プログラム(希望学生:中子)によりネットワークオレンジの小野寺理事長を招待するにあたり、支援の会として協力、別途シンポなどを開催することになった。小野寺理事長については柏木が打診、守屋本部長については、坂口が打診、柏木がフォローしていくことになった。また、つばさネットワークとして、気仙沼高校の佐藤教諭を招待してはどうか、という意見がでた。

#### B)広報活動

テレビ大阪、TBSの番組の活用については、今後、検討していくことになった。

#### C)現地への義援物資、募金

共同募金や日本財団関係等の助成金の利用について提案があったが、活動内容を明確化したうえで、今後、検討していくことになった。

#### D)現地活動第二陣の派遣

今回の活動でできたつばさ高校と気仙沼高校とのつながりの強化や、今回参加できなかった福祉関係者による別団体の有志との関係をつなげるためにバスバックの実施が提案された。時期についても夏休みが現実的という意見がでたが、つばさネットワークや現地との調整の都合などから具体的な議論にはいたらなかった。

#### E)その他

現地の旧家出身である小野寺容（ひろし）氏より気仙沼の大島ツアーの提案が出ている。ツアーを通じて震災の実態に関する教育と現地の経済支援を結び付けたいというこの提案に対しては、坂口氏が提案者と協議することになった。

元博士課程学生の福西よりビタミン寄贈の提案があったが、これについても坂口氏が寄贈先を検討することになった。

WWNより女性団体または女性向け支援事業への寄付10万円の提案があったが、それについては坂口と柏木が検討することになった。

6) 次回の日程は、今後の活動準備状況を見て、後日メールで決定することになった。

以上、文責 柏木・後藤